

平成28年度学校評価アンケートの結果について（まとめ）

【実施】

12月1日～9日に、全生徒・全保護者・全教職員に対して実施した。回答数(回収率)は 生徒：789(94%)、保護者：751(89%)、教職員：59(98%)である。

【概況】※肯定的評価(A+B)の割合が80%を超えることを一つの目安とする。

生徒は13項目で、「1本校に入学して良かった」、「5学校行事・生徒会行事は充実」、「6先生は、何事にも熱意をもって指導」が95%を超え、他に7項目が90%を超えた。「8学習環境は整っており、施設設備は充実」が80%を切り78.6%となった。ほとんどの生徒は学校生活に満足している様子が伺える。

保護者は18項目で、「1入学させて良かった」が95%を超え、他に5項目が90%を超えた。70%台が4項目(「9悩みや相談に親身」「13奉仕活動」「14施設設備」「15健康管理の保持」)あり「E分からない」の回答が多く含まれている。特に「9」は21.4%、「13」は14.4%、「15」は15.6%がEであり、「14」はC・Dが18.1%となった。全体的には昨年と大差なく、概ね理解され好意的である。

教職員は25項目で、「2教育方針は生徒、保護者に理解されている」の100%を含め16項目が90%を超えた。80%切ったものが3項目(「4校務分掌のバランス」「7教育課程は進学校として適切」「21施設設備」)であった。昨年よりも回答がBに集まったようで、全体的には若干下がったものの、確かな手応えを実感していることが分かる。

【考察】

生徒の回答では、ほとんどの項目で昨年に比べAが微増し、C・Dが減少した。項目ごとの変化はほとんど無いが「13生徒活動の積極的発信」が85.1%と上昇し、HP(4月より行事や催事の案内、部活動等の結果紹介を掲載)やブログ(各部や生徒会等)による広報活動の影響かと思われる。また、生徒の意識や教員とのやりとりに関する項目は、昨年同様に高い評価となっている。これは、さらに上を目指そうという生徒の向上心の表れと教職員の良好な関係が築かれていると考えられる。自由記述では生活、授業、部活動、行事や施設設備に関する要望や思いが寄せられた。特に「8学習環境は整っており、施設設備は充実」はアンケート実施が、暖房使用開始前後の時期であった事も起因してはいるだろうが、冷暖房についての改善希望が多く寄せられた。

保護者の回答では、ほとんどの項目で昨年に比べA・Bが微増した。「E分からない」の回答は昨年より減少したが、迷った回答はEにしたとの記述も見受けられた。判断する実感を持ちにくいといえよう。自由記述では多くの意見が寄せられ、特に1年生では入学後の様々な不安や心配事が多く、学年が上がるに従って感謝や提言的なものが増えている。

教職員の回答では、昨年に比べAが減少しBに数字が寄ったものとなった。「21施設設備」の肯定的評価(A+B)が66.1%と昨年(73.6%)以上に厳しいものとなった。80%未満の他の2項目も考慮すると、生徒との日常のやりとりには充実感をもって仕事をしているが、置かれている状況や環境に不安や不満を抱いているものと思われる。自由記述には今後の学校への期待や活性化に向けた意見や職場環境への要望等が寄せられた。

【学年間の比較】

生徒については、ほとんどの項目で3年生が高い。特に「5 学校行事・生徒会行事は充実」は3年生がA・Bで96.8%となり、自分たちが中心になって各種行事を運営したとする自負心が伺える。2年生はAが1年生より低い、C・Dが他学年より少なくBに集中した形となった。特に「1 入学して良かった」がA・Bで98.1%、「2 雰囲気良好」も97.4%と非常に高かった。高校生活を十分に楽しんで送っているものと思われる。1年生はAが2年生よりも各項目で多いが、C・Dも散見され、中学校との違いやまだ慣れていない面の心配や不安があるものと思われる。高かったのは「6 先生は熱心に指導」「10 授業は十分なレベル」「11 進路指導は満足」でA・Bで95%を超え、教員との良好な関わりを築いているようである。自由記述では、1年生が先輩や周囲との関わりを意識したものと授業に関する内容が多く、新しい人間関係の構築や学習習慣の確立を目指す時期であることを明確に物語っているようだ。2年生では行事や施設設備に関する内容、3年生では授業や講習そして施設設備に関する内容の要望が多く寄せられた。

保護者については、生徒と同様にほとんどの項目で3年生が高い。特に「5 教職員は熱意をもって教育」「17 保護者・地域社会から信頼」はA・Bで95%を超えている。これまでの学校や教職員との関わりによる結果と思われる。また、「9 悩みや相談に親身」はA・Bで84.4%と平均よりも10%以上高く、進路指導に関する「7 三年間を見通した内容」「8 情報提供」も90%に近く、進路等に関しての生徒と教員の関わりを理解されてのものと言えよう。2年生は、他学年よりはBに集中した数字となり、生徒と同様の傾向となった。ただ「14 施設設備」のC・Dの数値が23.8%で他学年より高かった。相対的には、これまでの学校生活を振り返ることと今後への期待が込められた内容と思われる。1年生は、7項目で回答「E分からない」が10%を超え、まだ理解が不足気味か迷ったの選択と思われる。自由記述では、1年生が中学校や他校と比較して外側から見た大枠での本校に対する希望を始め、日常の学習や部活動そして生活全般にわたる不安や心配を記載されたものが多かった。2年生では具体性が増し、各種行事や学習・部活動等に関する提言が多くなっている。3年生では感謝の言葉と今後の本校への期待を込めた思いを多く寄せて頂いた。

【まとめ】

今年は全員を対象に実施し、回答・自由記述をいただきました。昨年と比べ大きな変化はありませんが、項目によっては学年等の特徴も見られました。これは、3年間の中での本校との関わり方の長短の違いかもしれません。自由記述も細部を検討し、参考にしていかなければなりません。生徒・保護者・教職員の三位一体となって、本校の諸活動につなげていかなければならないと思います。